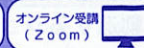


今の仕事に働きがいを見いだせない方、やりがいを持ってない方へ



働きがいを自律的に“再創造”する

「ジョブ・クラフティング」の実践



～仕事をする真の動機を(再)発見して、“働かないといけない”から“働きたい”にマインドが変える！～

と き 2024年 7月 2日(火) 9:30～16:30

開催形式 会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

ご参加
いただきたい方

●仕事に(再び)やりがいを見出したい方

- ※特に、
- 様々な現実と直面したことで、以前は感じていた仕事のやりがいを失ってしまった方
 - 仕事に自分の思いやアイデアを注入できる権限や裁量がほとんどなく、やらされ感が強い方
 - 好きで就いた仕事ではないので、やりがいや誇りを持つことをほぼ諦めている方

◆ 日本人の仕事のやりがいは、残念ながら世界最低レベルにある・・・

仕事にやりがいやモチベーションが持てない方というのは一定数存在しますが、日本の経済成長が停滞期から衰退期に入っていくにつれて更に増加した感があります。実際、アメリカの調査会社ギャラップ社が2022年に発表した「グローバル就業環境調査」によると、日本におけるビジネスパーソンの仕事の満足度はわずか5%であり、調査対象の全145か国中で最低となっています。つまり、ビジネスパーソンの20人中19人が仕事にやりがいを持っていないということであり、日本の労働者のマインドは非常に深刻な状態ではないかと思われま

◆ SDGsや企業倫理の概念が日本人にも浸透していく中、これからは社員に“滅私”の奉公を強いるのではなく、“活私”のマインドで仕事を通じて自己成長できる支援が必要

その背景として、高度成長期～バブル崩壊～リーマンショックくらいまでは、滅私奉公型の働き方を強いられ、多くのビジネスパーソンにとって働くことはMust>WantでありWant>Mustという思いを持つに至ることはほとんどありませんでした。しかし、ここ10年ほどで欧米からSDGsや企業倫理の概念が日本に浸透してきたことにより、企業経営において社員のやりがいや心のケアをもっと大切にしようという価値観が醸成され始め、企業も社員に対し“滅私”で奉公させるのではなく、“活私”で自社に貢献してもらうよう支援をする、いわば「人的資本経営」に舵を切り始めており、ISOでも国際標準の規格として認められています。

このような“活人経営”を行っていくにあたって、企業側として社員のやりがいをいかに引き出すのか、よりいっそう知恵を絞る必要があり、社員個人としては、与えられた仕事(多くの人が会社や上司から指示命令として与えられる)の中から、やりがいや楽しさを自分自身で見出し、誇りを感じることができる仕事への向き合い方や考え方が非常に大切になってきています。

実際、キャリア開発&向上支援において、研修やジョブローテーション、出向などが代表に挙げられますが、昨今においてはそれだけでは不十分であり、社員個人としても、自分自身で仕事をする意義や意味を再考して、向き合い(捉え)方を変える取組みが求められています。また、このような取組みは今まで全くなかったわけではなく、若手～中堅社員にはキャリア開発研修、中高年の非管理職にはセカンドキャリア支援研修などが役割を担っていたものの、これまでのところそれだけでは「働きがい改革」において大きな効果を残していません。

◆ <ジョブ・クラフティング>はやりがいを感じない仕事を、内発的にやりがいあるものに変える手法

このような理由から、「本当の意味で働きがいを持つ」「働きがいを再創造する」ことを目的に、約20年前に<ジョブ・クラフティング>の概念と実践体系がアメリカのイェール大学より提唱され、多くの組織において働く人のやりがいを再創造してきました。実際、その効果が非常に高いことから注目を集め、少しずつ世の中に広まり現在に至ります。また、クラフティングの語源は「技巧・工芸・手芸」といった意味合いを持ち、働きがいを再定義・再創造するためにスキルとして活用できるのが<ジョブ・クラフティング>になります。

<ジョブ・クラフティング>の主な効用は、

- ☺ 上司から与えられた自分の裁量がない仕事であっても、その仕事のやりがいを見い出せるようになる(Have to から Want to へ)
- ☺ その結果、情性や低いモチベーションでしていた仕事でも、少しずつやりがいや誇りが持てるようになる
- ☺ 更に、自分の人生や仕事を今までより肯定的に捉えられるようになり、自己肯定感と自己効力感が上がる
- ☺ 何より、仕事が楽しくなって、時間が経つのが早く感じられるようになる
(例: 子供の頃、遊びに夢中になって気がつけば日が暮れていたような感覚)
- ☺ その結果として、仕事の成果や生産性が上がり、自分と会社の関係がWIN-WINで良好になる

といったことが挙げられます。

従来のキャリア開発研修やセカンドキャリア支援研修とは一線を画し、モチベーションを再発掘・再発見して「働きがい改革」を実現できるのが<ジョブ・クラフティング>の最大の魅力です。この機会にぜひ<ジョブ・クラフティング>の真髄に触れ、仕事に対する考え方・向き合い方をアップデートする機会にいただければ大変うれしく思います。

◆ 研修プログラム (9:30~16:30)

1. 働きがい(再)創造するジョブ・クラフティングとは < 講義、演習 >
2. ジョブ・クラフティングが注目される背景とその目的 < 講義 >
3. ジョブ・クラフティングによる働きがい改革(再創造・再発掘)の成功事例 < 講義、事例紹介 >
4. ワークスタイルテスト < 個人演習 >
5. ジョブ・クラフティングの全体像 < 講義、ディスカッション >
6. 仕事の分類 ~労働・動機・キャリア・転職 < 講義、演習 >
7. 意義・喜び・強みに焦点を当てた自己分析 < 講義、演習 >

8. 3つの視点を切り口にジョブ・クラフティングを実践 < 講義、演習 >
 - (1) 作業クラフティング ~仕事のやり方の工夫
 - (2) 人間関係クラフティング ~仕事の関係者への働きかけの工夫
 - (3) 認知クラフティング ~仕事に対する意味づけの工夫
 - (4) マッチング ~自分の能力・特長と仕事を紐づける
9. 私のジョブ・クラフティングの発表 < 発表、ディスカッション >
10. 360度フィードバック < 総合演習 >
~講師&受講者からの相互フィードバックによる気づきの誘発・促進

講師

中産連パートナー講師 (ビジネスコーチ、やりがい・働きがい支援トレーナー)

東京大学文学部を卒業後、大手生命保険会社に就職。外資系生命保険株式会社の取締役人事部長、常務取締役を歴任後、人材教育会社を起業し、代表取締役に就任。どうしてもできない・やりがいが持てない仕事に対し「心の冒険」と称したメンタルブロックを取り払うことができる実践的な教育プログラムを開発。画期的な内容であったことから様々な企業で導入され、社員の「働きがい改革」を全面的にサポートし成果や生産性向上に寄与してきた。近年は「ジョブ・クラフティング」のプログラムを取り入れ、更なる「働きがい改革」の実現に向けて精力的に活動している。また、東京都を拠点にした複数の私立大学の講師を務め、コーチングやフロー理論に関する書籍も複数冊上梓している。

働きがいを自律的に「再創造」する「ジョブ・クラフティング」の実践(7/2) 参加要項/参加申込書

参加費 (1名様)	セミナー受講のみ	中産連会員 36,300円(消費税込)	中産連会員外 41,800円(消費税込)	★事後行動支援のラーニングコーチが「ジョブ・クラフティング」の知識の定着と日常実践までをしっかりと支援します!
	フォローアップ(事後行動支援)付き	42,900円(消費税込)	48,400円(消費税込)	
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「F」を入れてください。 <p>※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。</p>			
受講までの流れ	<p><会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2~3週間前に申込責任者宛へ郵送します。</p> <p><オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。</p> <p>【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。</p>			
キャンセルについて	<p>お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場受講の場合：開催日の前日(土日祝日を除く) & 当日・・・受講料の100% ・オンライン受講の場合：テキスト発送後(開催日の約1週間前)・・・受講料の100% <p>※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。</p>			
申込み・問合せ先	<p>一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL: 052-931-9824 e-mail: kohashikawa@chusanren.or.jp</p>			

会社名 _____ 年 月 日

〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

参加形態	フォローアップ(事後行動支援)を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	年齢	E-mail アドレス
<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン					
<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン					
<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン					

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	<p>今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。 <input type="checkbox"/> セミナーなどの関連情報の案内を希望しない</p>
		百万円	人	
中産連連盟会員(○印をお付けください)		会員	会員外	